2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月16日

上 場 会 社 名　　カタクラ(片倉工業株式会社)　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　3001　　URL　https://www.katakura.co.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名)　上甲 亮祐
問合せ先責任者　(役職名) 経理部長　　(氏名)　大呂 周平　　(TEL) 03(6832)0229

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	29,851	△1.0	5,193	8.1	6,179	7.7	6,443	32.3
2025年12月期第３四半期	30,145	5.4	4,803	53.6	5,737	42.4	4,870	90.4

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　6,140百万円(　△9.5%) 2025年12月期第３四半期　6,787百万円(　115.4%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	203.49	―
2025年12月期第３四半期	152.38	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	154,714	104,128	65.9
2025年12月期	153,049	99,761	63.8

(参考) 自己資本 2026年12月期第３四半期 102,009百万円　　2025年12月期　97,646百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	―	―	60.00	60.00
2026年12月期	―	―	―		
2026年12月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有
配当予想の修正については、本日（2026年11月16日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,100	1.1	5,800	△0.9	7,200	△0.2	7,450	29.3	235.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	35,215,000株	2025年12月期	35,215,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	3,543,011株	2025年12月期	3,565,461株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	31,663,044株	2025年12月期３Ｑ	31,962,015株

（注）当社は、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT-RS）」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT-RS）」に残存する自社の株式は、１株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（セグメント情報等） ……10
（重要な後発事象） ……11

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。また、企業収益の底堅さを背景に設備投資にも引き続き改善の動きがみられました。一方、中東情勢等の地政学リスク、金融資本市場の変動などの不確実性もあり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループでは引き続き積極的な事業展開を行うとともに構造改革を推進し、事業の安定化と収益性の向上に取り組んでおります。不動産事業では、さいたま新都心の競争力強化を継続するとともに、機能性繊維事業では、海外市場の開拓や生産能力の増強を行うことで、持続的な成長を目指しております。さらに、人的資本の拡充を図る取り組みなど、成長を支える基盤の強化にも注力し、中長期的な企業価値向上を実現してまいります。

不動産事業では、さいたま新都心社有地におけるコクーンシティの競争力維持・向上を図るため、引き続き戦略的なテナントリニューアルや施設環境の整備を進め、エリア価値の向上に取り組んでまいります。また、コクーンシティ周辺で進めている賃貸マンションの開発計画を確実に推進するとともに、地方不動産については、物件ごとのライフサイクルや収益性を踏まえ、適切な再投資や資産の有効活用を通じて、安定的な収益の確保に努めてまいります。

医薬品事業では、毎年の薬価改定等により厳しい事業環境が継続する中、効率的な事業運営を一層推進してまいります。過年度から実施を進めている組織改革の効果を定着させるとともに、他社との新たな販売提携の推進や、自社販売体制における流通経路に応じた営業活動の最適化に取り組んでまいります。あわせて、後発医薬品の開発・上市を継続するとともに、循環器領域で培った強みを生かしながら周辺領域への展開や他社との連携による製品ラインナップの拡充を図り、収益性の改善と事業基盤の強化に取り組んでまいります。

機械関連事業では、消防自動車事業を中心に、安定的な受注環境のもと、生産体制の効率化や原材料価格等を反映した適正な価格設定を継続してまいります。加えて、生産性の向上や販売代理店との連携強化を進めるとともに、海外メーカーとの協業を通じた製品ラインナップの拡充により、事業の安定性と収益力の向上を図ってまいります。

繊維事業の機能性繊維事業では、耐熱性繊維を中心に需要動向を踏まえた海外市場の開拓を進めるとともに、第4号焼成炉の稼働開始に向けた準備を進め、生産体制の強化等に取り組んでまいります。また、水溶性繊維については、既存用途における販売の維持を図りつつ、将来の展開を見据えた取り組みを継続してまいります。

実用衣料事業では、事業構造の見直しと組織体制の再構築を継続し、収益性の改善を図るとともに、機能性インナー分野の強化を図ってまいります。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、不動産事業や医薬品事業等で増収となったものの、機械関連事業の減収により、298億51百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。営業利益は機械関連事業や医薬品事業で減益となったものの、不動産事業や繊維事業の増益等により、51億93百万円（同8.1%増）、経常利益は、61億79百万円（同7.7%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上等により64億43百万円（同32.3%増）となりました。

セグメント毎の業績は次のとおりです。

①　不動産事業

不動産事業は、当社運営のショッピングセンター「コクーンシティ」におけるテナントからの賃料収入及び周辺保有物件からの賃貸収入の増加等により増収となりました。この結果、不動産事業の売上高は90億80百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は38億17百万円（同10.6%増）となりました。

② 医薬品事業

医薬品事業は、薬価改定の影響はあるものの、2025年12月に発売した『トルバプタンOD錠3.75mg「TE」』等の売上が寄与したことにより増収となりました。この結果、医薬品事業の売上高は88億56百万円（同5.3％増）、営業利益は薬価改定による粗利率低下等により７億23百万円（同11.8％減）となりました。

③ 機械関連事業

機械関連事業は、シャシのモデルチェンジの影響等による生産・販売時期の期ずれ等により減収となりました。この結果、機械関連事業の売上高は48億２百万円（同22.8％減）、営業利益は３億88百万円（同45.8％減）となりました。

④ 繊維事業

繊維事業は、実用衣料事業において機能性インナーが販売減となったものの、機能性繊維事業での耐熱性繊維等の販売が好調に推移したことにより、全体として増収となりました。この結果、繊維事業の売上高は51億19百万円（同5.7％増）、営業利益は８億35百万円（同68.0％増）となりました。

⑤ その他

その他の区分は、ビル管理サービス、ITサービス、印刷紙器の製造・販売及び訪花昆虫の販売等により構成しております。

その他の売上高は19億92百万円（同1.0％増）、営業利益は87百万円（同81.5％増）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（総資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は1,547億14百万円（前連結会計年度末比16億64百万円増、同1.1％増）となりました。

これは、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金、商品及び製品、有形固定資産のその他が増加したことが主因です。

（資産の部）

流動資産は、592億73百万円（前連結会計年度末比７億47百万円増、同1.3％増）となりました。増減の主要な項目は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品であり、現金及び預金、商品及び製品がそれぞれ17億98百万円、10億73百万円増加し、受取手形及び売掛金が19億25百万円減少しました。

固定資産は、954億40百万円（前連結会計年度末比９億17百万円増、同1.0％増）となりました。増減の主要な項目は、建物及び構築物、有形固定資産のその他であり、有形固定資産のその他が13億15百万円増加し、建物及び構築物が４億76百万円減少しました。

（負債の部）

流動負債は、172億47百万円（前連結会計年度末比20億21百万円減、同10.5％減）となりました。増減の主要な項目は、その他であり、15億74百万円減少しました。

固定負債は、333億38百万円（前連結会計年度末比６億80百万円減、同2.0％減）となりました。増減の主要な項目は、長期借入金であり、９億91百万円減少しました。

（純資産の部）

純資産は、1,041億28百万円（前連結会計年度末比43億66百万円増、同4.4％増）となりました。増減の主要な項目は、利益剰余金であり、45億89百万円増加しました。また、自己資本比率は65.9％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年８月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,491	33,290
受取手形及び売掛金	8,105	6,180
リース投資資産	5,133	4,892
商品及び製品	5,359	6,432
仕掛品	2,747	3,155
原材料及び貯蔵品	3,492	3,240
その他	2,199	2,083
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	58,526	59,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,064	20,588
土地	16,785	16,790
その他（純額）	3,569	4,885
有形固定資産合計	41,420	42,263
無形固定資産	512	729
投資その他の資産		
投資有価証券	43,321	43,142
退職給付に係る資産	8,598	8,652
その他	675	658
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	52,590	52,447
固定資産合計	94,523	95,440
資産合計	153,049	154,714

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,702	4,284
短期借入金	2,761	2,690
1年内返済予定の長期借入金	1,956	1,461
未払法人税等	1,235	1,491
賞与引当金	237	519
その他	8,375	6,801
流動負債合計	19,268	17,247
固定負債		
長期借入金	2,962	1,970
長期未払金	582	441
繰延税金負債	15,538	15,516
役員株式給付引当金	120	123
土壌汚染処理損失引当金	55	53
退職給付に係る負債	1,816	1,899
長期預り敷金保証金	9,432	9,581
資産除去債務	2,447	2,443
その他	1,064	1,309
固定負債合計	34,019	33,338
負債合計	53,287	50,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,817	1,817
資本剰余金	16,545	16,660
利益剰余金	59,307	63,896
自己株式	△5,846	△5,802
株主資本合計	71,824	76,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,027	21,950
繰延ヘッジ損益	47	1
退職給付に係る調整累計額	3,746	3,485
その他の包括利益累計額合計	25,822	25,437
非支配株主持分	2,115	2,119
純資産合計	99,761	104,128
負債純資産合計	153,049	154,714

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	30,145	29,851
売上原価	18,987	18,337
売上総利益	11,157	11,513
販売費及び一般管理費	6,353	6,320
営業利益	4,803	5,193
営業外収益		
受取配当金	908	952
その他	194	156
営業外収益合計	1,103	1,108
営業外費用		
支払利息	99	98
その他	70	24
営業外費用合計	169	122
経常利益	5,737	6,179
特別利益		
固定資産売却益	1,252	－
投資有価証券売却益	－	2,973
特別利益合計	1,252	2,973
特別損失		
固定資産処分損	－	76
特別損失合計	－	76
税金等調整前四半期純利益	6,989	9,077
法人税、住民税及び事業税	1,558	2,521
法人税等調整額	515	83
法人税等合計	2,074	2,605
四半期純利益	4,914	6,471
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,870	6,443

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	4,914	6,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,477	△23
繰延ヘッジ損益	△54	△46
退職給付に係る調整額	△549	△261
その他の包括利益合計	1,872	△331
四半期包括利益	6,787	6,140
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,735	6,066
非支配株主に係る四半期包括利益	52	73

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	2,029百万円	2,156百万円

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	不動産	医薬品	機械関連	繊維	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
売上高								
不動産賃貸に付随するサービス	540	－	－	－	－	540	－	540
医療用医薬品販売	－	8,413	－	－	－	8,413	－	8,413
消防自動車販売	－	－	6,223	－	－	6,223	－	6,223
実用衣料販売	－	－	－	2,720	－	2,720	－	2,720
機能性繊維販売	－	－	－	2,022	－	2,022	－	2,022
その他	－	－	－	－	1,972	1,972	－	1,972
顧客との契約から生じる収益	540	8,413	6,223	4,743	1,972	21,894	－	21,894
その他の収益(注)４	8,150	－	－	100	－	8,250	－	8,250
外部顧客への売上高	8,691	8,413	6,223	4,844	1,972	30,145	－	30,145
セグメント間の内部売上高又は振替高	29	－	－	1	323	354	△354	－
計	8,720	8,413	6,223	4,845	2,296	30,499	△354	30,145
セグメント利益又は損失（△）	3,450	819	716	497	48	5,532	△728	4,803

（注）１．その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、ITサービス、印刷紙器の製造・販売及び訪花昆虫の販売等であります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△728百万円には、セグメント間の取引消去△17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△711百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	不動産	医薬品	機械関連	繊維	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
売上高								
不動産賃貸に付随するサービス	547	－	－	－	－	547	－	547
医療用医薬品販売	－	8,856	－	－	－	8,856	－	8,856
消防自動車販売	－	－	4,802	－	－	4,802	－	4,802
実用衣料販売	－	－	－	2,529	－	2,529	－	2,529
機能性繊維販売	－	－	－	2,448	－	2,448	－	2,448
その他	－	－	－	－	1,992	1,992	－	1,992
顧客との契約から生じる収益	547	8,856	4,802	4,977	1,992	21,177	－	21,177
その他の収益(注)４	8,532	－	－	141	－	8,673	－	8,673
外部顧客への売上高	9,080	8,856	4,802	5,119	1,992	29,851	－	29,851
セグメント間の内部売上高又は振替高	29	－	－	1	313	344	△344	－
計	9,109	8,856	4,802	5,120	2,305	30,195	△344	29,851
セグメント利益又は損失（△）	3,817	723	388	835	87	5,851	△658	5,193

（注）１．その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、ITサービス、印刷紙器の製造・販売及び訪花昆虫の販売等であります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△658百万円には、セグメント間の取引消去△15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△642百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。